

○次回定例研究会について

平成30年度第1回定例研究会を2018年6月2日（土）に下記の要領で開催いたします。研究会終了後18時30分より懇親会を予定しております。会員の皆さま、ぜひともご参集ください。なお、当該年度定例研究会でのご発表等に関するご要望等につきましては、定例研究会担当（阿部悟郎：gr-abe@tsc.u-tokai.ac.jp）までお寄せ下さい。

- ・日時：2018年6月2日（土）15：00～18：00
- ・会場：〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
共通講義棟1号館203教室
- ・アクセス：東京メトロ
丸の内線「茗荷谷」駅より徒歩7分程度
有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分程度
- ・アクセスマップ：
<http://www.ocha.ac.jp/help/accessmap.html>



【発表①】

学校教育の暴力性に関する社会哲学的研究

松田太希（夙川学院短期大学）

本発表では、学校における種々の暴力現象を、人と人との関係において生起する社会現象とみなし、その正体をつきとめ、解決に向けた視座を提示することを試みる。その際、方法的に、スポーツ集団に着目し、学校における暴力を考察するためのパラダイムとする。スポーツ集団は、人間集団の暴力性が最もよく看取できる場であることがその理由である。なお、本発表は、同タイトルの博士論文（広島大学）にもとづいている。

【発表②】

授業としての「体育哲学」の可能性

高橋 徹（仙台大学）

本発表では、各大学に授業科目として設置されている「体育哲学（その他別称、体育原理、スポーツ哲学、スポーツ原理など）」の授業内容の可能性を再検討したい。体育哲学の講義では、学生に何を伝えることができるのだろうか。また体育学関連科目の中で、現在、体育哲学に期待される役割とは何なのであろうか。体育哲学関連テキストを概観することを中心に、授業としての「体育哲学」の可能性を議論したい。

なお、この春に発表者が編者を務め、本領域に所属する研究者にも加わって頂く形で『はじめて学ぶ体育・スポーツ哲学』（株式会社みらい）を上梓した。本発表では、本書のねらいなども併せて紹介したい。